

しげんさいせいネット夏季セミナー2026企画



- ・ 開催日時: 2026年8月27日(木)14:00~16:00
- ・ 受付開始: 13:30~
- ・ 開 会 : 14:00~
- ・ 会 場 : 名古屋クラウンホテル 3階 富士1
- ・ 主 催 : (一社)循環資源再生利用ネットワーク
- ・ 後 援 : 愛知県



鳳来寺山

森林、木材の利活用で実現する脱炭素社会

日本の森林は、国土の約7割を占めています。

この半世紀のあいだに森林面積はほぼ変わらないまま、利用されずに残された森林資源(=蓄積)が大幅に増えています。特に人工林においては、豊富な資源が蓄積されているにもかかわらず、その多くが十分に活用されていません。

今回の夏季セミナーではこうした、日本に豊富にあり大切なバイオマス資源を地球温暖化防止と木材利用(伐って、使って、植えて、育てる)の視点から考えます。

講師

名古屋大学大学院生命農学研究科 教授 福島 和彦

1990年4月 名古屋大学農学部助手

1996年3月から1997年1月 仏国立農業研究機構生化学研究所 文部省
在外研究員

1997年8月 名古屋大学農学部助教授

2004年6月 名古屋大学大学院生命農学研究科教授

2023年 日本農学賞・読売農学賞を受賞

学会活動等: 日本木材学会会長、リグニン学会会長を歴任 現在、東海バイオコミュニティ推進協議会幹事長



講演テーマ

サーキュラーエコノミーで東海地域の環境・経済・社会はどう変わるか？

木質バイオマスのこれから～化学的利用に向けて～

地球温暖化防止(持続的・循環型社会の構築)にとって木材利用が大きな効果をあげると考えられています。

森林の適正な管理がなされていれば、木材利用は地球温暖化を抑制するだけでなく、人類が生きていく上で必要なエネルギーや材料の原料を持続的に供給することを可能にします。これまで、木を伐ることは環境破壊との固定観念が定着していましたが、今は、木材は持続的な社会を構築する上で欠かせない資源として見直されているのです。

循環型社会の実現に向け、エネルギーもマテリアルも、バイオマス由来でどこまでやれるのか、化学の力で挑戦しています。

★「夏季セミナー２０２６」参加お申込み方法

申込みフォームにご記入後送信頂きお申込ください

お申込フォーム <https://forms.gle/p8YSQrCeUP3tUMuc7>

